

	差引金額	¥	.	-				
--	------	---	---	---	--	--	--	--

(様式)

令和8年度

女子バレーボール部の指導方針等について

令和8年 4月17日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	土屋 慶志郎			
副顧問	丸田 拓紀			
副顧問	山田 健太			
副顧問	松村 素子			
副顧問	林 望			

2 年間目標

日々の練習を通して、体力・筋力・精神力を鍛えるとともに、バレーボール技術の向上を目指す。

日々の生活の中で、気配りやホスピタリティマインドを育てるとともに、学習活動にも力を入れる。

3 指導方針

部員の自主性を重視しながらも統率された活動を行い、部への所属意識を高め自信を持たせる。

怪我につながるプレーや練習らならないよう十分に配慮するとともに、怪我をしないしなやかな体を作る。

4 指導内容・方法

生徒の状況を観察しながら、適宜適切な助言・指導を行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	学年進行に伴った心構えの育成と言動の成長。新入部員の勧誘及び高校部活動へのスムーズな移行。春季大会に向けたチーム力向上と調整。
	5	3年生の引退試合に向けた気持ちの運び方と準備。新体制に向けた各部員の適性判断。1年生部員の基礎技術の育成。
	6	新体制の役割の決定とスムーズな移行。基礎技術の定着及びチーム力向上に向けたコツの繰り返し習得。
	7 8	夏合宿及びそこに向けた体力向上とアスリート意識の芽生え。

2 学期	9 10 11 12	<p>新人大会に向けたスケジューリングの把握とそこに向けた技術の向上。部員個々の適性を考慮したポジション意識の育成。</p> <p>新人大会の目標の設定と実現に向けた練習試合等の積極的計画。</p> <p>新人大会直前の過ごし方と調整方法の実践。会場校運営を通じた気遣いとおもてなしの心の育成。</p> <p>持久力の積極的育成。公立校大会に向けた意識づくりと次のステップに繋げる高いモチベーションの育成。</p>
3 学期	1 2 3	<p>新年を迎えての決意と自己覚醒に向けた心の切り替え。</p> <p>公立校大会の運営と結果に拘る大会への意識づくり。会場校運営を通じた気遣いとおもてなしの心の育成。</p> <p>年度末に向けて各学年の集大成としての言動・技術の定着と進級に向けた準備行動への理解。</p>

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。